

令和7年度 外郭団体 概要・評価シート

1. 基本情報

団体名	公益財団法人 静岡市文化振興財団			所管課	文化政策課
所在地	静岡市葵区御幸町4番地の1	代表者	理事長 高木 雅宏 (令和8年6月12日まで)	設立年月日	平成6年07月01日
基本財産	225,000千円	市出資額 (基本財産等に占める割合)		225,000千円 (100%)	
出資理由等	静岡市における市民の文化の振興に関する事業を行うとともに、静岡市の設置する文化施設等の管理に関する事業を行い、もって魅力ある静岡文化の創造に寄与することを目的に財団を設置するため、平成6年に70,000千円出資。				
設立根拠法	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に基づく財団法人				
設立目的	演劇、舞踊、美術、音楽、科学、歴史、生涯学習等の文化振興に関する事業を行い、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による文化創造活動を促進し、もって魅力ある静岡文化の創造、継承、発信に寄与することを目的とする。				
業務内容	静岡市文化振興事業の実施 静岡市文化、社会教育施設等の管理運営				

2 経営計画書の取組状況

(1) 取組実績

(令和7年度)

1	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	文化をはぐくむ人づくり	文化鑑賞事業実施数	52事業	43事業	
		文化鑑賞事業鑑賞者数	180,000人	272,908人	
		支援育成事業の実施数	50事業	72事業	
	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	静岡音楽館指定管理業務	静岡音楽館の管理・運営			
	静岡科学館指定管理業務	静岡科学館の管理・運営			
	静岡市美術館指定管理業務	静岡市美術館の管理・運営			
	静岡市歴史博物館指定管理業務	静岡市歴史博物館の管理・運営			
	文化活動振興事業業務	市民が文化芸術に触れる機会を提供することを目的とした文化事業の実施			
	団体意見	静岡市民文化会館の休館による事業数の減少に伴い、実施事業数は目標に達しなかったものの、多くの市民に多彩な事業を提供できた。静岡市美術館展覧会「日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展」をはじめ、自主財源により静岡音楽館開館30周年記念事業「R. シュトラウス：歌劇《ナクソス島のアリアドネ》を開催するなど、文化鑑賞事業全体で43事業、272,908人の参加者を集めた。 支援育成事業では静岡科学館「静岡県高等学校生徒理科研究発表会県大会」、静岡市歴史博物館「学校教育への支援事業」など、文化活動の次代を担う人材の発掘と育成に寄与すべく全体で72事業に取り組んだ。			
	市意見	指定管理施設においては、静岡市民文化会館の休館により目標値の達成が懸念されたが、静岡市美術館の展覧会や静岡音楽館30周年記念事業など、鑑賞者数の目標を上回る実績に寄与しており、適切な維持管理とともに大きな成果をあげたと評価できる。			

2	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	文化がはぐくむ地域づくり	普及啓発事業実施数	600事業	673事業	
		普及啓発事業参加者数	150,000人	194,886人	
		利用者満足度（静岡市歴史博物館）	85.0%	95.99%	
	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	静岡音楽館指定管理業務	静岡音楽館の管理・運営			
	静岡科学館指定管理業務	静岡科学館の管理・運営			
	静岡市美術館指定管理業務	静岡市美術館の管理・運営			
	静岡市歴史博物館指定管理業務	静岡市歴史博物館の管理・運営			
	静岡市生涯学習センター指定管理業務	静岡市生涯学習センターの管理・運営			
	団体意見	国内外で活躍する演奏家や研究者などを招聘するのみならず、当法人の学芸員等が地域の学校や各文化施設等でアウトリーチ型の事業を開催するなど、積極的に地域へアプローチし、新たな文化の受容層の拡充を図った。各施設において673事業を開催するなど、全項目で目標を達成することができた。引き続き多くの市民が文化芸術に触れることができる環境づくりを進めることで、文化への理解と関心を深め、次代の文化を担う人材の育成につなげていく。			
	市意見	指定管理施設においては、それぞれの施設が連携した事業を実施しており、多様な文化に触れる機会の創出をすることで、目標値を達成するとともに、次世代の人材育成に取り組んでいることは評価できる。			

3	施策名称		評価指標	目標値	実績	備考
	文化でつながるまちづくり	入館者数	静岡科学館	250,000人	198,778人	
			静岡市美術館	300,000人	230,638人	
			静岡市歴史博物館	157,900人	197,118人	
		利用者満足度	静岡音楽館	85.00%	90.74%	
			静岡科学館	85.00%	95.21%	
			静岡市美術館	85.00%	87.18%	
			静岡市歴史博物館	85.00%	95.99%	
		静岡音楽館施設利用者数		100,000人	96,169人	
		静岡音楽館利用率		80.00%	85.40%	
	主要取組名称		取組概要・実績			備考
	静岡音楽館指定管理業務		静岡音楽館の管理・運営			
	静岡科学館指定管理業務		静岡科学館の管理・運営			
	静岡市美術館指定管理業務		静岡市美術館の管理・運営			
	静岡市歴史博物館指定管理業務		静岡市歴史博物館の管理・運営			
	団体意見		利用者の満足度は87.18%～95.99%と高水準にあり、来館者及び事業参加者から高い評価を得た。一方で入館者数、施設利用率については静岡科学館入館者数が達成率79.51%、静岡市美術館入館者数が76.88%に留まっており、集客増に向けて広報活動の分析や改善を行っていく。 法人全体で市民参加型事業の開催や文化芸術を担う人材や団体を育成するための事業に取り組むほか、メディア芸術に関する事業への取り組み、ICT技術の発展に伴うオンラインやオンデマンドを活用した事業への取り組みなど、新たな利用者の開拓や文化活動の創出などに取り組んでいく。			
	市意見		指定管理業務においては、施設管理を適切に行っており、利用者の満足度は各施設目標を上回っている。一方で、一部施設の入館者数に未達があるため、現状分析や原因分析などを行い、目標達成に向けた改善の取組を期待する。			

4	施策名称	評価指標		目標値	実績	備考
	文化でにぎわうまちづくり	連携事業の実施数		40事業	36事業	
		観覧者数	静岡市美術館	120,000人	119,605人	
			静岡市歴史博物館（有料展示）	43,000人	45,014人	
		観覧者満足度	静岡市美術館	85.00%	95.10%	
			静岡市歴史博物館	85.00%	95.99%	
		事業参加者満足度	静岡音楽館	85.00%	96.80%	
			静岡科学館	85.00%	98.75%	
			静岡市美術館	85.00%	95.10%	
			静岡市歴史博物館	85.00%	96.21%	
	主要取組名称	取組概要・実績				備考
	静岡音楽館指定管理業務	静岡音楽館の管理・運営				
	静岡科学館指定管理業務	静岡科学館の管理・運営				
	静岡市美術館指定管理業務	静岡市美術館の管理・運営				
	静岡市歴史博物館指定管理業務	静岡市歴史博物館の管理・運営				
	団体意見	観覧者及び事業参加者の満足度は全ての施設で95%を超え、市民にとって魅力ある事業を展開することができた。 外部の市民団体や企業等との連携事業数は達成していないが、文化鑑賞事業や普及啓発事業にも外部団体等との連携実績はあり、今後も様々な取り組みの中でこれまでに培ってきたネットワークを活用した事業を展開し、文化を通じた活力あるまちづくりに貢献していく。				
	市意見	指定管理施設では、事業参加者満足度の達成はもちろんであるが、今後の当財団の役割、方向性を見据えると、積極的に地元企業や文化団体との連携の強化は必須であると考え。外部資金や協賛金の獲得も目標として、地域との連携を加速的に進めていくことを期待する。				

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
	生涯学習推進事業	生涯学習団体の新規立ち上げや既存団体の活動支援を目的とした事業数	33事業	83事業	
		各種講座、講演会等開催数	550事業	532事業	
		各生涯学習センター施設利用者数	500,000人	549,666人	
		各生涯学習センター稼働率	40.00%	42.60%	
		利用者満足度	90.00%	99.29%	
		受講生満足度	85.00%	92.46%	
5	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	静岡市生涯学習センター 指定管理業務	静岡市生涯学習センターの管理・運営			
	静岡市南部勤労者福祉センター 指定管理業務	静岡市南部勤労者福祉センターの管理・運営			
	静岡市小鹿老人福祉センター 指定管理業務	静岡市小鹿老人福祉センターの管理・運営			
	団体意見	利用者数（達成率109.9%）をはじめ、全ての項目において高水準で成果を上げることができた。特に、コロナ禍を経て活動が停滞していた学習活動を盛り上げるため、生涯学習団体の新規立ち上げや既存団体の活動支援に重点的に取り組んだ。今後も、持続可能で次世代へと継承される学びの環境を築いていく。			
	市意見	施設利用者数は前年度と比較して増加しており、利用者満足度も高い水準を保っている。また、生涯学習団体の新規立ち上げや既存団体の活動支援を目的とした事業数の増加は、コロナ禍で停滞していた学習活動の再活性化に加え、市民主体の学習活動の幅が広がり、多様な学習機会の創出や継続的な活動に繋がっている。事業については、事業計画に沿って適切に実施されており、受講者満足度も高く、さらに市民主体のまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材育成や地域コミュニティの活性化に努めている。 今後も、多様化する市民ニーズを踏まえ、新規利用者の開拓や学習活動の活性化に取り組み、創意工夫のある生涯学習を着実に推進されることを期待する。			

	施策名称	評価指標	目標値	実績	備考
6	歴史資源を活かした学習及び交流促進事業	静岡市歴史博物館入館者数	157,900人	197,118人	
		静岡市歴史博物館有料展示の観覧者数	43,000人	45,014人	
		静岡市歴史博物館利用者満足度	85.00%	95.99%	
	主要取組名称	取組概要・実績			備考
	静岡市歴史博物館指定管理業務	静岡市歴史博物館の管理・運営			
	団体意見	入館者数（達成率124.84%）、有料観覧者数（達成率104.68%）、満足度（達成率112.93%）と、いずれも目標を達成することができた。 展示事業では多様なテーマ設定により幅広い層の関心を集めた。特に「十返舎一九と蔦屋重三郎」は高い評価を得たほか、「徳川御三卿 田安德川家」展では寄託資料の価値や背景を物語性のある展示構成で伝えることができた。教育面では学校連携を強化、観光交流では地域連携を拡充し、誘客と活性化を推進した。今後も地域の歴史文化の発信拠点として、魅力ある展示と教育支援を展開していく。			
	市意見	利用者数及び利用者満足度は目標値及び昨年度の実績を上回る結果を残しており、目標達成に向け着実に取り組んでいる。来館者増の背景として、SNSの発信力強化や企画展を主軸においた関連イベント等の体系的な実施など、これまでとは異なる層への価値発信や来館機会の拡大を図る工夫や事業者の努力がうかがえる。			

（２）施策や取組実施に係る現状分析や課題

令和7年度は、静岡音楽館開館30周年記念事業として「R. シュトラウス:歌劇《ナクソス島のアリアドネ》（演奏会形式）」をはじめ、法人全体で全873事業を実施した。また、静岡市のパートナーとして、文化鑑賞事業等の実施を通じて静岡市の文化施策及び生涯学習施策の実現に努め、法人が管理運営する施設全体で1,387,311人の来場者を迎えた。

平成25年度（2013年11月号）より毎月発行してきた文化情報誌「しずおかイベントニュース」について、紙媒体からデジタル媒体への移行を検討し、令和8年5月からLINE公式アカウントによる情報配信（週2回）に切り替えることとした。

また、静岡音楽館の新たな芸術監督として村治佳織氏が就任し、「かわる×つなぐ」を新たな基本理念として掲げ、過去の実績をベースに、次世代の育成支援や、静岡音楽館の響きを生かした音楽体験の提供などに取り組むことを発表した。

引き続き、様々な施設、様々な形で既存の文化活動を支援するとともに、新たな利用者の開拓や文化活動の創出などに取り組んでいく。

（３）現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組

現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組内容	対応状況
評価指標を達成できなかった項目のうち、利用者数・入館者数を向上させるため、広報手段の検証及び見直しを行うほか、法人全体で文化芸術を担う人材や団体を育成するための事業に取り組む。	対応着手
様々な形式で外部との連携を行ってきたが、さらに文化芸術の裾野を広げていくために、多様な主体との連携を推進していく。	対応着手

3 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況(千円)

区分		R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	備 考
収入	事業収入	2,347,396	2,324,041	2,042,431	
	事業外収入	187,148	288,487	87,653	
	その他	0	0	0	
	合 計	2,534,544	2,612,528	2,130,084	
(静岡市からの収入総額)		1,898,266	1,985,288	1,670,875	
支出	事業支出	2,236,374	2,325,552	2,046,041	
	事業外支出	272,140	179,156	209,571	
	その他	0	0	0	
	合計	2,508,514	2,504,708	2,255,612	
収支差		26,030	107,820	-125,528	

(2) 資産の状況(千円)

区分		R5年度決算	R6年度決算	R7年度決算	備 考
資産	固定資産	1,382,130	1,291,391	1,412,567	
	流動資産	702,585	638,740	497,572	
	合 計	2,084,715	1,930,131	1,910,139	
負債	固定負債	243,368	265,615	295,032	
	流動負債	466,956	298,088	285,158	
	合 計	710,324	563,703	580,190	
正味財産	基本財産／資本金	225,000	225,000	225,000	
	剰余金等	1,149,390	1,141,428	1,104,949	
	合 計	1,374,390	1,366,428	1,329,949	

(3) 役員・職員の状況

ア 役員数(人)(R8.4.1)

	評議員		理事	
		内市退職者・派遣		内市退職者・派遣
常勤	0	0	2	1
非常勤	10	1	7	3
合計	10	1	9	4

イ 職員数(R8.4.1)

	正規職員	非正規職員	市退職者・市派遣	合計	備 考
R6	89	106	19	214	
R7	85	108	17	210	
R8	90	102	16	208	

(4) 財政・人員体制の現状分析や課題

物価高騰や人件費上昇、市民文化会館休館に伴う事業規模縮小、指定管理料の積算方法見直し等が影響し、正味財産の減少が続いている。

正規職員の新陳代謝が本格化する令和14年頃まで人件費は増加する見込みであり、将来負担への備えが必要である。世代交代を見据えた人的基盤の強化も課題である。

(5) 現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組

現状分析や課題に対する対応方針・具体的な取組内容	対応状況
チケット収入の確保、補助金・寄附金等の獲得による収入増に取り組む。	対応着手
DX推進による業務効率化及び支出削減に努める。	対応着手
将来の人材確保や組織維持のための資産を積み立てる。	対応着手
人材育成計画に基づく研修の実施やプロパー職員の幹部登用を進める。	対応着手
他団体への職員派遣による人事交流を通じ、多様なキャリア形成及び能力開発を促進する。	対応着手

4 全体総括・評価

外郭団体
・経営計画書に基づき、市の方針に沿った取組を着実に実施することができている。 ・市の文化政策を実現するパートナーとして、多様な分野で市民が文化に触れる機会を創出するとともに、文化活動の支援育成や新たな文化事業の創出に取り組み、市民の創造的文化活動の促進を図っている。 ・厳しい経営状況が続いているが、チケット収入や寄附金等の収入増と業務改善の推進による支出削減に努め、運営基盤の維持に取り組んでいく。
静岡市
・静岡市の文化政策を具現化するために必要不可欠な存在として、財団の設置目的や市から求められている役割を踏まえたうえで、高い専門性やこれまでに培った経験や実績の蓄積を活かして市からの委託業務を実施している。また、指定管理業務においては、先述の専門性や培ったノウハウを活かして、施設の設置目的や役割を理解し、適切に業務を実施している。 ・人的基盤確立のため、人材育成計画を策定してこれに基づく研修を実施する等、職員育成や、プロパー職員の幹部登用を進めその育成に努めている。 チケット収入の確保や助成金・寄附金獲得への取り組み等による収入増と業務改善の推進等による支出削減の取り組みを並行して進め、財務基盤の安定化に努めている。